

2019年室内環境学会第1回講演会 「IoT社会の室内環境センシング —生体センシングから スマホの活用まで—」の開催報告

2019年度事業委員会委員長 山口 一

2019年9月6日（金）に幕張メッセ国際会議場105会議室において、事業委員会の主催で講演会を開催しました。JASIS2019（旧分析展／科学機器展）で企画されたJASISコンファレンスのプログラム内での講演会でした。

最近、インターネット経由でセンサーと通信機能を有した機器を繋げるIoT技術が急速に進み、室内環境のモニタリングにも応用されてきました。本技術により、医薬品製造施設や医療施設などの施設管理に関する検査時間の大幅短縮や精度向上ばかりでなく、一般住居における室内環境の簡易測定などの分野への展開も期待されています。本講演会では、話題となっている生体センシングにもふれ、本技術に関連した分析・評価法の概要、実施例および今後の課題などを、本分野の専門家と国内で関連機器を提供されている企業の方にご講演頂きました。

参加は50名以上と会場がほぼ満席となる盛況な会となりました。大学・研究機関の他、電機メーカー、医薬品・食品・化学メーカー、建設関連企業及び環境測定機器関連企業など、様々な分野の方々に参集して頂きました。誌面をお借りして、講演者、聴講者、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。事業委員会では今後も講演会を企画する予定です。引き続き会員の皆様にご協力をお願いいたします。

講演会の予稿集は1部3,000円で販売しております。学会ホームページ（www.siej.org）、「学会誌・資料」タブ、「バックナンバー販売」の「学会主催 講演会・セミナー資料」から購入できますのでご利用ください。

プログラム

趣旨説明13:00～13:10

山口 一（大同大学、事業委員会委員長）

基調講演「グラフェンナノセンサによるpptレベル高感度ガスセンシング技術の現状と今後の展望」...13:10～14:00

水田 博（北陸先端科学技術大学院大学、先端科学技術研究科、教授）

第一部

司会：齊藤 智（竹中工務店）

一般講演1「MEMSデバイスによる環境センシングの可能性」.....14:00～14:30

三笠佳代（オムロン㈱、事業開発本部、MEMS開發生産センタ、技術開発部、開発2課、主査）

一般講演2「センシングツールを活用した、働く人、働く場の見える化」.....14:30～15:00

上野裕一（富士ゼロックス㈱、SWI事業本部 デジタルプラットフォームグループ、マネジャー）

休憩15:00～15:10

第二部

司会：山岸 弘（ライオン㈱）

一般講演3「バイタルモニタービーコンの実用化」.....15:10～15:40

宮本 修（ホンデン㈱、国内営業本部、東京営業部営業課 兼 MEDiTAGプロジェクト、課長）

一般講演4「横波型弾性表面波デバイスを用いた小形免疫センサ」.....15:40～16:10

谷津田博美（日本無線㈱、新規事業開発本部、新規事業開発技術部、バイオセンサグループ、専任部長）

一般講演5「タニタにおけるセンサ技術とヘルスケアへの展開について」.....16:10～16:40

望月 計（㈱タニタ、生産技術本部、量産設計センター、技術2課、課長）

質疑応答（全体）16:40～16:55
総括16:55～17:00
山口 一（前出）

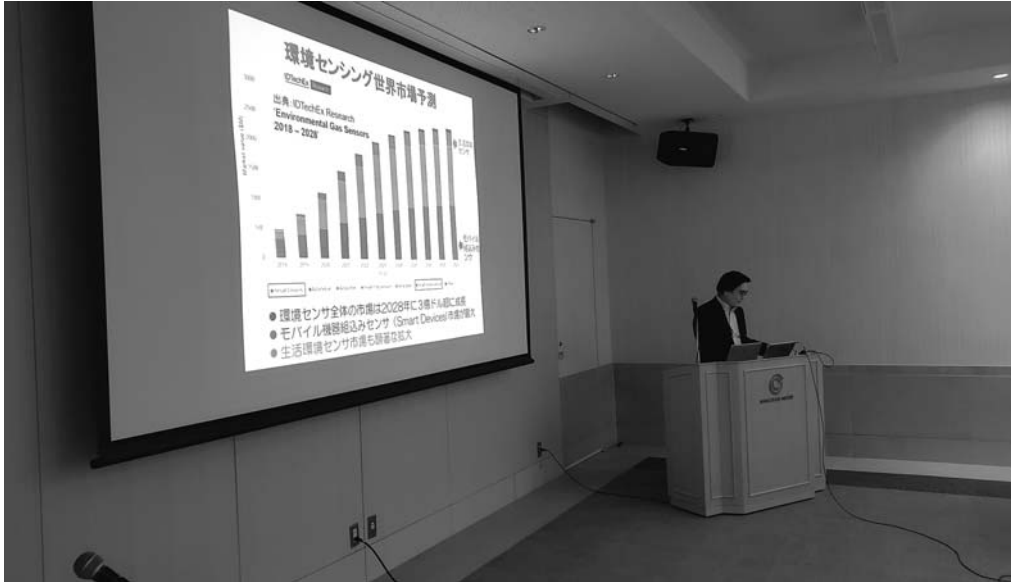


写真1 水田教授による基調講演



写真2 盛会となった会場

以上